

教育委員会 1 月定例会会議録

1 会議の名称 中之条町教育委員会 1 月定例会

2 会議の期日 令和 2 年 1 月 1 6 日 (木)

3 会議の場所 中之条町ツインプラザ 教育長室

4 会議に出席した委員・教育長

教育長	宮崎 一
委員 (教育長職務代理者)	登坂 初夫
委員	清水 博巳
委員	高橋 久夫
委員	山口 貴美子

5 会議に出席した職員

こども未来課長	倉林 敏明
生涯学習課長	富沢 洋
教育指導係長	矢嶋 将之
六合支所補佐兼総務係長	山本 伸一
総務係長	山田 秀隆

6 議 題

議案第 1 号 第 2 4 回あがつまバンドフェスティバル 2 0 2 0 の後援依頼について

7 協議事項

- (1) 六合中学校のあり方について
- (2) 令和 2 年度教育費当初予算について
- (3) その他

8 その他

- (1) ぐんま教育フェスタについて
- (2) 県町村教育委員会教育長・教育委員合同研修会 (1/9・10) について
- (3) その他

9 開会

午前9時25分、教育長、教育委員会会議の開催を宣す。

教育長より開会の挨拶。

(1月4日の賀詞交換会と1月13日の成人式について、忙しい中、ご出席を賜り感謝申し上げます。1月8日から3学期が始まった。現時点において、冬休み期間中の児童生徒の事故等の報告は無い。)

10 会議録署名人の指名

教育長が今回の会議の会議録署名人に、清水博巳委員を指名。

11 会期の決定

会期の決定 本日一日限り

12 前回会議録の承認

全員異議のないものと認め、承認。

13 報告事項

(1) 教育長等執務報告

教育長より、令和元年12月14日から令和2年2月20日までの行事等について報告。

(第5回郡教育長会議、12月議会最終日、議会・執行部忘年会、スパトレ実行委員会、文化財専門委員会、文化財専門委員会忘年会、適応指導教室「虹」訪問、まち5実行委員会、まち5反省会、幼稚園・小学校・中学校二学期終業式、ウィンター・イングリッシュ・セッション、激励金交付報告書、仕事納め式、町消防団夜警激励、仕事始め、第1回定例議会、町賀詞交換会、小学校・中学校三学期始業式、吾妻広域圏賀詞交換会、吾妻広公域圏理事会、郡町村教育長等研修会、郡校長会総会・新年会、消防団出初式、町成人式、消防団役員新年会、鳥追い祭り伊勢宮祭典、保育士面接、鳥追い祭り同饗払い、定例教育委員会、高山村教委来庁、第二次人事ヒヤリング、町交通指導員隊初点検、保育士面接、郡上毛カルタ大会、文化財専門委員会、神保家保存活用検討委員会、第4回県市町村教育長人事会議、令和2年度当初予算教委関係ヒヤリング、文化財防火デー関連事業、雅楽の祭典(欠席)、管内校園所長会議、ぐんま教育フェスタ(欠席)、第3回人事運営委員会、教育委員会訪問、県市町村教育長会議、第6回教育長会議、第4回人事運営委員会、自作学習・教材コンテスト表彰式、次回定例教育委員会、教育委員会訪問等について)

14 会議における議事の経過及び発言要旨

議案第1号 第24回あがつまバンドフェスティバル2020の後援依頼について

生涯学習課長、議案資料について説明

- ・参加予定団体は、中之条小学校及び中之条中学校の他、郡内の学校、社会人吹奏楽団である。例年、中之条町教育委員会で後援を行っている。

異議なく資料のとおり承認

1 5 協議事項

(1) 六合中学校のあり方について

こども未来課長、資料について説明

資料の内容について、前回示したものと同一ものになる。

委員の皆様に通学手段について、現在の内容または、別な手段等のご意見があれば伺いたい。

(高橋委員)

タクシーを利用すると計画しているが、タクシー会社への問い合わせ等はどうか。

(こども未来課長)

まだ、運行条件等の詳細を計画してからという段階であり、問い合わせは行っていない。

(高橋委員)

タクシーを使うことは、通学時間を考えた場合、一番短くて済むというメリットがあると思う。

道路について、昔に比べると拡幅され整備はされているが、狭い場所もまだある。

また、冬の間、道路の除雪等安全面の確保という関係もあると思う。

集合場所を決めて、どこまでタクシーで、どこからスクールバスでという案もあったと思う。

ある程度、具体的なことが出てこない、話が進まないと思うので、これを煮詰めていくことが必要と感じる。

(山口委員)

どれを見ても、メリット、デメリットがあるように思う。

自分としては、中之条中学校への通学を考えている中では、スクールバスが良いと感じる。

乗換えとなると、負担があるように感じる。どれをとっても、1時間ぐらいかかるのであれば、電車では無理でもバスの中では、おにぎりを食べるとか、睡眠も大事なので、仮眠がとれるとか考えた。

いろいろな思いを抱えていると思うので、アンケートをとったらどうかと思う。

(清水委員)

先程の山口委員からのご意見は、保護者の立場としてご意見いただきありがたく感じた。

中之条中学校に通うことで、部活動の充実や子供達の社会経験の充実ができるということだが、子供達が3年間、1時間以上かけて通学することはきつい事だと未だに思っている。

六合の保護者に対して、説明がされていない。

中には、無関心であったり、なるようにしかならないと思っている保護者もいると思うが、心

配されている方がいっぱいいる。なんで現在のような検討内容になっていくのか不信感を感じていると聞いている。なるべく早めに、経緯を説明した方が良いと思う。

中之条の子供達が通学時間に1時間以上かかっているといわれると、しょうがないのかもしれないが、六合地区の子達は、通学にそこまでかかっていないため、納得は得られないのではないかと思う。

(教育長)

住民の皆様への説明というのは、現段階で何について説明すれば良いのか、今のご意見からは分からない。

というのは、方向性が出れば当然説明しなくてはならないと考えているが、途中経過を方向性が定まらないまま話をするとというのは、余計に惑う、混乱をさせてしまう原因になるのではないかと思う。

私が考えているのは、この教育委員会で方向性を出していただき、早急に総合教育会議を開く。

総合教育会議では、町長の他、副町長にも入っていただいた。これは、教育委員会で方向性が出て、予算や町の施策が関係するため、へき地地域の交通対策を町当局では、どのように考えていくのか、伺いながら一緒に考えて行きたいと思っているからである。

また、タクシーとあるが、六合地区でスクールバスを運行しているのは、ローズクイーン、中之条町では、共立メンテナンスである。スクールカーを町で用意してくれるとなれば、タクシーと同じ事ができると思う。町が予算を出してくれるということになれば、運行にあたり予算を算出したり、業者に話をしたりと、物事が進む事になる。だが、実際に業者と交渉を進めて行くにあたり、もし、すべての業者が出来ないとなった場合には、この案を考え直さないといけないということにもつながる。従って、現時点では、住民の皆様へ説明をする段階にないと考えている。

まずは、総合教育会議で案について了解をいただき、行動して行きたいと考えている。

(清水委員)

地域の人に説明をしてもらいたいと考えている。

中之条中学校への統合という事にまとまったと思っている方がいる。子供に負担をかけたくないと感じている。

(教育長)

子供に負担がかかるという事は、通学の事になると思う。しかし、中之条中学校へ統合するメリットというのは沢山ある。それが教育委員会として、中之条中学校へ統合を検討する事を選択した理由である。

従って、ベターな通学方法を検討しているということである。先程、申し上げたとおり、適当な通学方法がないのであれば、六合中学校のあり方について別な方法を考えなければならないと考えている。そういうことも含んでいる段階で地域の方に説明を行うことは、混乱を招くことになると思う。じっくりと検討した中で、説明責任を果たして行くということが良いと感じている。

(清水委員)

わかりました。何かありましたら、地域住民に説明させていただきます。

(登坂教育長職務代理者)

教育長から話しがあったように、前回の総合教育会議で、中之条中学校への統合を検討していくという方向性が出ているので、それに向けて次回の総合教育会議で通学方法について検討し、次の段階へ進めて行くということによろしいか。

(異議なく承認)

(2) 令和元年度教育費当初予算について

(こども未来課長、生涯学習課長)

令和2年度教育費当初予算の内容について、資料に沿って説明する。

こども未来課関係の予算要求金額は、民生費・教育費合計で1,152,090千円である。生涯学習課関係の予算要求金額は、文化会館73,077千円、生涯学習628,892千円、歴史と民俗の博物館52,589千円、公民館82,444千円である。

生涯学習課は1月15日に、こども未来課は本日1月16日の午後に、総務課財政係のヒヤリングを受ける。

(登坂教育長職務代理者)

令和2年度教育費当初予算については、説明のとおり要求したということによろしいか。

(異議なく承認)

(3) その他

なし

1.6 その他

(1) ぐんま教育フェスタについて

こども未来課長より、開催要領等資料により案内する。

教育長より、昨年までは、希望する教育委員と出席していたが、今年度は欠席する事を伝えた。

登坂教育長職務代理より、委員の参加意向を確認し、本年は出席無しということになった。

(2) 県町村教育委員会教育長・教育委員合同研修会(1/9・10)について

(教育長)

部会別研究協議の学校教育部会に参加した感想を述べる。「生きる力をはぐくみ、ふるさと郷恋を愛する人づくり」として、郷恋村の地田功一教育長の話聞いた。

強力に進める無償化対策として、郷恋村の取組みについて照会された。スクールバスについて、

平成25年度から現在15路線を運行しているとのことで、中之条町に比べ、非常に多いと感じた。平成28年度は、給食費、小・中学校教材費、幼稚園・保育園保育料、学童保育料、英検受験料補助の5つの項目について無償化に取り組んでいる。英検受験料補助は、上限を1人5,000円と定め行っている。児童・生徒数は、小学校が403名、中学校が215名で、小学校が2校、中学校が1校となっている。児童生徒数の見込みについては、東部小が学年一クラス。西部小学校が1・2年生で一クラスとなっている。婦恋中は来年度学年二クラスになってしまうということだった。英語教育について、婦恋は英語教育強化地域拠点事業を文科省指定で平成26年度～29年度に取り組んできているという話があった。その他、沖縄の座間味村交流事業や中学生海外派遣交流事業も実施している。その他、スケートや、様々な無償化事業等地域の特性を活かした取組を行っていると話があった。

吾妻教育事務所の所長より、指導助言内容について紹介。新学習要領に関連し英語について話があった。英語を使つてのコミュニケーション活動を豊富に用意する必要があるだろうということ。学んだ英語を活用する場所や機会が必要だということ。授業の他にその他の場所が必要だということ。中学生が修学旅行で外国人と英会話でコミュニケーションを図ることで、授業の補完を行う事。本町のイングリッシュ・サマー・キャンプやウィンター・イングリッシュ・セッション等の意図的な活動もこれにあたると考える。こういう事を通じて、さらなる学びへ発展していくということ。また、新しい文化を知るといふことと、次のステップに繋がるということ英語について指導いただいた。

(登坂教育長職務代理者)

部会別研究協議の社会教育部会に参加し、吉岡町教育委員会の山口教育長の発表を聞いてきた。

吉岡町は、人口が増加している町である。10年間で約2,000人増加している。人口割合は、65才以上は21%、0才～14才が16%、その間の社会人の世代が、63%となっている。交通網が整備されており、土地も中之条町と比べると安いという条件であるため、人口が増える要因がある。しかし、もともと住んでいる住民と新しい住民とのコミュニケーションが難しい。社会人世代の公民館活動や祭り等の地域の文化活動への参加をしてもらうのが大変である。

人口が増えるということは、良いイメージであるが、住民とのコミュニケーションの場をどうつくるか、人間関係をどうつくっていくのかが非常に難しいことなのだと、あらためて感じた。

中之条町の例えば、まち5や、鳥追い太鼓等のイベントを開催できるということは、生涯学習課や地域住民の取組みの成果が表れていることだと感じた。

(教育長より、記念講演『2020年新学習要領完全実施に向けて』について説明をする。)

(3) その他

・ウィンター・イングリッシュ・セッション

(こども未来課長)

昨年、12月25日(水)に実施した。2名のALTを講師に、午前中に小学生6名、午後に

中学生7名が参加した。ゲームを中心に非常になごやかな雰囲気で開催できた。

アンケートの結果からも、子供達も、講師も楽しく過ごせたと考えている。参加しやすい開催時期の検討や、英語に親しむという趣旨を踏まえて来年の開催を検討したいと考えている。

(高橋委員)

午後の中学生の方を見学した。

最初は、ぎこちないという感じで始まったが、ゲームをやっているうちに盛り上がり、会話も生まれ、英語をしゃべるという意欲が高まったと感じた。はずかしいとか、間違ったら嫌だとかでは、なかなか声は発せられない。間違っても良いから会話を楽しむということが大事だと感じた。ALTの講師には良いゲームを考案してもらい、楽しみながら英会話が大変良かったと感じた。こういう機会を持つということは、重要な事だと感じた。

(登坂教育長職務代理者)

イングリッシュ・サマー・キャンプや、今回のウィンター・イングリッシュ・セッションのように機会を与えるということは大事な事だと感じる。今後も是非、機会をつくっていただければと思う

・問題行動月例報告について

矢嶋教育指導係長より説明。

・中之条町駅伝競走大会について

生涯学習課長より資料を配付。

(教育長)

ウィンター・イングリッシュ・セッションについて、来年度に向けて日程を検討したい。

イングリッシュ・サマー・キャンプは、今年度は台風で開催ができなかったが、日帰りで企画したところ、前年度より多い参加希望があった。来年度計画する際も、日帰りで検討しても良いと感じた。

適応指導教室の指導員について、本当に良くやってくれている。見て感じるのは、親が変われば、子供も変わる。頻繁に面談を重ねているご家庭については、子供が順調に通室できるようになったり、学校へも少しずつ通えるようになったりと徐々に成果が出てきている。

指導員には、保護者との繋がりを持ってもらい、子供達が不利にならないような対応ができるように、来年度の充実に向けて進めていければ良いと思っている。

(清水委員)

令和2年度の予算説明の中で、給食費徴収の弁護士委託があったが、現状はどんな状況か。

(総務係長)

今年度より、給食費の無償化により、新たな未納・滞納は発生していない状況である。

滞納者に対して、納付の督促、税務課と合同で訪問をする等行っている。

10万円以上の滞納者に対しての徴収を弁護士に委託することで準備を進めているところである。今年度中には、契約を取り付けたいと考えている。

17 閉会の宣言

午前11時05分、教育長、教育委員会会議の閉会を宣す。

*** 次回の会議について ***

令和2年2月20日(木) 午前9時30分 於：教育長室

19 議決事項

議案第1号 第24回あがつまバンドフェスティバル2020の後援依頼について

(承認)